

適用規格					
定格	使用温度範囲	-40 °C ~ +85 °C (95 %RH以下)	保存温度範囲	-40 °C ~ +50 °C (95 %RH以下)	
	電力	-- W	特性インピーダンス	-- Ω (-- ~ -- GHz)	
	特殊性	----	使用ケーブル	----	
性能					
	項目	試験方法	規格	QT	AT
構造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		—	—
電気的 性能	接触抵抗	- mA (or Hz) 以下で測定する。	中心コンタクト - mΩ 以下 外部コンタクト - mΩ 以下	—	—
	絶縁抵抗	DC - Vで測定する。	- MΩ 以上	—	—
	耐電圧	AC - Vの電圧を 分間印加する。 (漏洩電流 mA以下)	せん絡, 絶縁破壊がないこと。	—	—
	リターンロス	周波数 -- ~ -- GHzにて測定する。	- dB以上	—	—
	挿入損失	周波数 -- ~ -- GHzにて測定する。	- dB以下	—	—
	機械的 性能	単体挿抜力	φ - の鋼製ピンで測定する。	挿入力 - N以下 引抜力 - N以上	—
総合挿抜力		適合コネクタで測定する。	挿入力 - N以下 引抜力 - N以上	—	—
繰り返し動作		- 回の抜き差しを行う。	①接触抵抗: 中心コンタクト - mΩ 以下 外部コンタクト - mΩ 以下 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	—	—
耐振性		周波数 -- ~ -- Hz, 片振幅 - mm, 加速度 - m/s ² で - 軸方向各 - サイクル 試験する。	① - μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	—	—
耐衝撃性		加速度 - m/s ² , 持続時間 - ms, 正弦半波 - 軸方向各 - 回試験する。		—	—
ケーブルクランプ部の引張り強度		- mm/分でケーブル軸をケーブル抜け, 断線が発生するまで引張り, 最大荷重を確認する。	最大荷重 - N以上	—	—
環境的 性能	温湿度サイクルの耐湿性	温度 -- ~ -- °C, 湿度 -- ~ -- %中に - サイクル(- 時間) 放置する。	①絶縁抵抗: - MΩ 以上 (高湿時) ②絶縁抵抗: - MΩ 以上 (乾燥時) ③破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	—	—
	温度サイクル	温度 -- → -- → -- → -- °C 時間 -- → -- → -- → -- 分を - サイクル試験する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	—	—
	塩水噴霧	濃度 %の塩水, 時間放置する。	機能を損なうような腐食がないこと。	—	—
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
備考	RoHS適合品			承認	TO. KATAYAMA 17. 04. 11
				検図	TO. KATAYAMA 17. 04. 11
				担当	YI. FUNADA 17. 04. 11
				製図	YI. FUNADA 17. 04. 11
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(対応規格JIS C 5402)を適用している。					
注	QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目		図番	SLC-364510-00-00	
	製品規格表		製品名	SMP-J-N1	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL350-0014-0-00	△